

生きがいは努力

生あるかぎり 軽やかに 輝やいて!!



夜明けの陰影 — アオサギ

撮影：田辺典雄会員 P. 4 参照

退職者
こだま会報

NO.50



私は横浜市に住んでいます。今年七月二一日付で、「介護保険料額決定通知書」が届きました。「いよいよ、介護保険料の徴収が始まるんだなあ」と思いながら、その通知書を見たところ、一〇月から、二か月分として約四千円（一か月平均約二千円）を支払う計算になっていました。伝え聞いていた保険料よりも安いなあと思いい、正直、ほっとしましたところ、が、通知書裏面の説明を見ているうちに、目が吊り上がってしまいました。今年の一〇月から来年九月までの一年間は半額にしてあると書かれていたからです。つまり、二〇〇一年一〇月からはこの倍額の保険料を支払うことになるのです。しかも、介護保険料は、私たちの場合、年金からの天引きですから、抵抗する術はありません。また被保険者が介護の対象になるかどうかは事業者側の認定にかかっています。「保険あって介護なし」と言われるゆえんです。加えて、介護を受けるには、自己負担があります。そのため、介護保険がない時代に受けていた介護サービスを受けずに我慢する例が出ています。高齢者から高額の保険料

高齢者の負担増に歯止めを

を取って、サービスは出し惜しみする介護保険は高齢者泣かせの制度です。高齢者泣かせの制度といえ、秋の臨時国会に再提出が予定されている医療制度改悪案もその一つです。七〇歳以上の患者の場合、窓口負担は平均で一・五倍になるといわれています。高齢者の場合、現行では、外来はどの医療機関でも一回五三〇円、月四回を限度とした定額負担になっています。それが、診療所外来では、診療所側が患者負担を定額負担にするか、定率負担にするかを選択することになっており、いずれの場合も上限が引き上げられます。病院外来は一割定率負担ですが、二百床以上の病院では月の上限額が五千円になります。入院も現行の一日千二百円がすべて一割定率負担となります。加えて、給食費も引き上げられます。これでは高齢者は医療から締め出される恐れがあります。私たちはこのような、高齢者の介護を保障しない介護保険制度や医療保障を切り下げようとする動きを監視する訳にはいきません。介護保険制度や医療保険制度に対する国の負担を増やさせるなどして、高齢者負担の軽減を図らせるとともに、介護・医療制度を充実させるために、みんなで力を合わせていきましょう。

(生方 武羅志)

楽しい趣味の会

歴史教室

とき 6月19日(月)

13時30分～15時

参加者 32名

講師 太平記と鎌倉①

講師 中村猪一郎会員

ところ 神奈川自治会館

太平記にみられる「足利尊氏と新田義貞」がテーマで、今回は義貞に焦点が当てられた。

・相を同じくする新田・足利氏

清和源氏五代源義家(八幡太郎)

の子義国の嫡子が新田氏を、第二子が足利氏を興した。したがって新田氏には足利氏より上位の意識があった。しかし、足利氏は頼朝の旗上げに参画、北条氏と外戚の関係をつくり、鎌倉御家人第一の家柄となるなど政治性が高かった。

一方、新田氏は時勢をみる目を持たず、幕政での失態を機に無位無官のまま板東の一豪族として過してきた。この格差が清和源氏嫡流と自認する新田一族の積年の恨みとなる。恨みがつのり、これを晴らそうとい

趣味の会は、長生きの散歩道

と一緒に歩きましょう!!

部会の申込みは、

葉書で事務局へ

う時代に義貞の登場となる。

・太平記による新田義貞像

義貞といえば、かの有名な鎌倉攻めで大功をたてた戦略に優れた武将である。この勲功で御醍醐天皇の信任を得、ようやく尊氏と並ぶ実力を得るが、相変わらず政治力が乏しく板東武者は尊氏の政治力に魅力にひかれ尊氏についてた。義貞は天皇の武将として忠勤を励むが、大事な時に天皇には何も進言しなかったり、天皇から賜った女人と別れを惜しむあまり戦期を逃がすなど周囲をみる眼がなかった。

最後には、時を待てば誰がみても負ける筈のない戦(北陸藤島の戦)で、武将としての自信過剰が無防備の戦いを挑み負け、自害して果てる。

稲村ヶ崎の武将義貞のイメージに違った光が当てられており、興味深かった。

(小野田ふで子)

食文化をたのしむ会

(第3回)

とき 七月七日(金)

一一時～一五時

こだま俳壇

須藤伸成

逆転の大ホームラン梅雨あがる
海に入る神事もありて夏祭

(茅ヶ崎・浜降祭)

クーラーの中で暑中と

したためり

病む身には長き八月終りけり

百日紅百日咲いて今日も咲く

明田一星

中元や蕎麦の便りを上へのせ

故郷の友古き自慢や俵編み

広島の友文絶ちし原爆忌

小川水草

黴拭いて老斑の顔つくづく

話し来て名前浮かばず冷房車

萩咲いて話の弾むフェンス越し

荒れ畑の村起さんとそばの花

広畑に芋ひと畝のさがみ畑

参加者 一三名

ところ 横浜市健康福祉センター

夏バテしないための薬膳を習いました。ナス、貝柱、クコ、松の実など。お茶では夏のさわやかなお菓子のいろいろを知りました。

新たな方が数名参加、嬉しいことでした。



薬よ、おごるなかれ

水野 肇著

紀伊國屋書店94・刊
一、四〇〇円(税共)



病院に行くとやたらに薬をくれま
す。薬が病を治すのは確かですが、
著者は薬についての二つの問題を問
いかけています。

一つは薬は万能ではなく、微生物
対薬剤の歴史では簡単に薬剤が病原
体に勝つたとはいえない面があるこ
と。(第一薬が効かなくなってきた)
もう一点では製薬会社は、本当
にいい薬を開発して欲しいこと(日
本はなぜ薬害が多いのか)。

著者は、医学・医療のフリーライ
ターです。『夫と妻のための死生学』
などの著作があります。

予告!! 趣味の会

秋の旅行案内

紅葉の奥志賀高原一泊の旅

●旅行日

一〇月二九日(日)～三〇日(月)

●出発日時・場所

一〇月二九日(日)

七時平塚発→七時四〇分厚木発

●旅行代金 一人二二、八〇〇円

●旅のあらまし

出発地↓(中央道) ↓諏訪(名物・釜めしで昼食) ↓中野↓馬曲温泉(すばらしい紅葉を望む露天風呂に入浴) ↓奥志賀高原(泊) ↓雑魚川溪谷(紅葉の名所) ↓秋山郷(奥深い山あいの秘境) ↓塩沢↓出発地

紅葉に囲まれた宿でゆっくりと一泊、高齢者向きの旅です。

申込みは一〇月一七日(火)までに、こだま会事務局・加藤まで至急ご連絡下さい。

●食文化をたのしみ会

今回も健康によく老化を防ぎ、風邪予防の薬膳料理の実習をしてみんなで会食、お抹茶とお菓子で楽しいひとときをすごします。男性の参加もお待ちしております。

日 時 一〇月二九日(水) 11時～15時

場 所 横浜市健康福祉センター 9F 調理実習室 (桜木町駅前)

会 費 一、八〇〇円

申し込みは一〇月一〇日(金)までハガキで、こだま会事務局へ

今回出席者の方に、お正月用トシ散を差上げます。

●秋の観劇会

今回は、国立劇場 一二月歌舞伎公演を企画いたしました。

日 時 一二月一三日(水)

開 演 12時

演 目 通し狂言 富岡恋山開 新歌舞伎十八番の内 素襖落

出演者

中村富十郎、尾上辰之助、尾上菊之助、中村時蔵、尾上菊五郎の豪華キャスト。20世紀を締めくくるにふさわしいお芝居です。

会 費 一等A七、八〇〇円 (二割引)

申し込みは一〇月七日(火)までに、ハガキでこだま会事務局へ。

●歴史教室

散 策 葉山史跡散策
と き 一〇月一七日(金)

JR逗子駅10時集合

コ ー ス 逗子駅→浄楽寺→玉蔵院→森山神社→しおさい公園→森戸神社→あぶずり城跡→(解散)

案 内 中村猪一郎会員

●健康ウォークの会

紅葉の宮ヶ瀬ダム周遊

と き 一〇月一日(土) 雨天順延
集 合 本厚木駅北口広場9時30分

9時40分発のバスに乗車

コ ー ス 本厚木駅(バス)→宮ヶ瀬山なみ、ビジターセンターなど見学→湖周遊(観覧船)→ダムサイト

見 学 (バス)→半原で解散

会 費 五〇〇円(保険・写真代)
交通費は自弁。

こだま会の談話室

横浜で開催

10・26 (木)

詳しくは7頁をみて下さい。

●俳句教室―ご一緒にいかが

第一回として「定年からの俳句づくり」を企画しています。講師を招き俳句づくりの楽しさを学びます。

興味のある方は、事務局または小川水草(〒228-0802)までご一報下さい。

××××××××

自治労連県退職者会の催し

手づくり文化祭(2000・11・25)

新春の集い(2001・21・22)

県内の自治体退職者会が連帯し、活動を進めている本会は、恒例の二つの催しを計画しています。

●手作り文化祭

と き 11月25日(土) 10～16時

と ころ 横浜市従会館

ノド自慢、腕自慢の出演、出品や心暖まるバザーの物品提供などご協力下さい。

●新春の集い

と き 2001年1月21日(日)～22日(月)

と ころ 湯河原「ちとせ荘」

費 用 男性八、五〇〇円

女性八、〇〇〇円

湯友だち、酒友だちとして多に交流しあいたいものです。

いずれも、振ってご参加下さい。申込みは事務局まで。

野鳥の営み、生命の輝きを撮る

野鳥カメラマン 田辺典雄さん



「せいかつ短信」で田辺さんが野鳥の写真展を開かれることを知り、野鳥の写真になぜこだわるか、撮影の面白さ、喜びなどなど、田辺さんに一文を頂きご紹介することになりました。

野鳥との出会い

退職二年前ぐらいだと思ふ。家のすぐ近くにある、道保川公園に行つたところ、偶然、清流の鳥と呼ばれるカワセミに出会い、その美しさに魅せられて、本格的に野鳥カメラマンとしての活動を始めた。

早いもので約一三年間、撮影場所を道保川公園より、多くの種類の野鳥を求めて、徐々に相模川に移した。私の目は、やはり相模川に生息する野鳥の方が野性的で、それが相模川に引き付けられた理由の一つでもあった。その後、毎日と言つていいほど、いつもレンズは躍動する野鳥の体を、その生命力がはじける瞬間を追っていた。しかし、こんな一瞬はひたすら待つだけでは撮れない。鳥の習性を知ることが不可欠で、今ほどの枝にどの鳥が来るか、だいたい分か

るようになっていく。

趣味とはいえ、

何時間も耐え忍ぶことで

真冬、早朝四時に撮ったアオサギも、事前に位置を決めて二月末、待ちに待ったその時がついに一〇日目の早朝にやつて来た。

朝日に照らされた相模川の水が黄金色になった所へ、体長一メートルもあるアオサギが飛来。イメージ通りのシーン、河原からそつとカメラを向ける。寒さと興奮で手がぎこちない。アオサギとの距離は約三〇メートル。しかし、レンズの中のアオサギは、行動を起こさない。「早くしないと太陽が昇りきつてしまう」と思つた瞬間、長いくちばしの先に小魚を捕らえて一気に飛び立つ一瞬を逃さなかった。

『夜明けの陰影』と題したこの作品(巻頭の写真)は、相模原市や全国的美術展で金賞、市長賞など、多数の受賞を頂く。一番感動的な作品である。

第二の人生を鳥と楽しむ

写真展の度に用意する芳名帳には、約五〇〇〜六〇〇を越え

る人びとが書いて下さる。「すばらしい生命を感じた」「美しい写真なので実物を見たい」「相模川にもこんなに沢山の野鳥がいるのか」「来年も楽しみにしている」などの声が多数寄せられ、これらの声に突き動かされ、本当にこれが励みになっている。

七年前に全国ニッコールクラブに入会(会員番号一八八二二〇)して、『ファミリーサイズフォトコンテスト』部門に応募を続け頑張ってきたところ、お陰様で年度賞第一位を受け、感無量の思いです。コンテストを通して貴重な体験

もし、第二の人生を鳥と楽しみながら、人の心に残るような作品作りに励みたいと思つている。

六年ぐらい前だと思ふが、一月の初旬大雪が降り、翌朝雪も止んで、雪の中のカワセミが撮りたく相模川へいった。雪解けの始まった止まり木の上から、水面に真つ逆さまに突き刺り、一瞬のうちに魚を捕らえ、止まり木に戻つた姿を撮影した。左上の『見事なキャッチ』が、その作品である。(前述の年度賞第一位は、年間四回トップ受賞しないと貰えない賞)



田辺さんの県でのお仕事は、公用車の総括管理でした。若い時の趣味は射撃だそうで、撮影とは「狙う」という点で共通しています。なるほどと思ひました。カメラなどの重さは約14kg、野鳥を驚かさないう様に迷彩服を着て、車もグリーンのツートン。鳥の習性を知り友だちになれば、車の中まで飛び抜ける由。こうなればイメージ通りの構図を描いて、忍耐強くシャッターチャンスを待つそうです。

(写真展に行き感銘をうけた

米山・木村記)

おいしい卵で健康ライフ

ヨード卵で血糖値とコレステロールを下げる

医学博士 関本邦敏

(日本農産工業株式会社)



ヨード卵・光は、発売から25年余り経過しているが、その間に多くの研究者や臨床医による研究報告が行われ、特に脂質代謝改善作用、糖代謝改善作用、抗炎症作用等々に関する実験動物や培養細胞を用いた基礎的な研究結果ならびに家族性高脂血症患者、腎不全による人工透析患者での脂質代謝改善作用、インスリン非依存型糖尿病患者の血糖改善作用、アレルギー患者におけるアレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎等の疾病に有効とする臨床試験結果も報告されてきている。これらの研究成果は、二〇報をこえる学術誌への論文として、また、五〇回をこえる学会発表をしてきている。これと並行してヨード卵の販売量も発売以来増加し続けており、現在約四千三百万パック(六個入り)、およそ一二〇万人が食べており、毎年一二〇%以上の伸びを示している。

この期待される食品であるヨード卵・光の機能性について現在までに

得られている研究成果について簡単に述べる。

一、脂質代謝改善作用：神戸女子薬科大学、筑波大学、星薬科大学、熊本県立大学等との共同研究で、ラットを用いる食事性高コレステロール血症モデルでの薬理的試験やラットの寿命に近い長期飼育による老化に伴う脂質代謝異常についての検討を行い、いづれも血中コレステロールや中性脂肪を下げ、脂質代謝改善作用を認めた。また、ヒトでの臨床試験例としては、東北大学病院、明宝診療所、摂南病院、あけほの病院、慶應大学病院等で高脂血症、家族性小児高脂血症、人工透析患者での高脂血症例についてヨード卵の摂取が脂質代謝改善に有効であった。ヨード卵の動脈硬化の予防を通して老化防止に有効な食品として期待されよう。

得られている研究成果について簡単に述べる。

二、糖代謝改善作用：星薬科大学、聖マリアンナ医科大学、白岡中央病院、筑後川温泉病院等での糖尿病モデル動物での基礎的な研究およびインスリン非依存型糖尿病患者での臨床試験で、糖負荷による血糖値の改善に有効な結果が得られている。今後、詳細な検討を重ねて糖尿病患者の食事療法にヨード卵の応用が期待されよう。

試験を実施しており、いずれも有効な成果が得られつつある。

三、抗炎症作用：星薬科大学、東京薬科大学等での基礎研究と東京女子医大病院、東京医科大学病院、社会保健中央病院等でのアレルギーやクローン病での臨床

これらのヨード卵の持つ特異な生理活性がヨード卵の卵黄脂質画分にあること、普通卵のそれには認められないことが解明されてきている。現在も、上記以外の多くの研究機関や病院とさらなる解明をめざして研究に取り組んでいる。

21世紀を見据えた期待される機能性食品、それがヨード卵・光である。

6月の総会では参加された方にヨード卵券を差上げました。参加者の多くから「ヨード卵ってなに?」の質問があったので、本稿を寄せて頂きました。

編集委員会

表 ヨード卵と普通卵の成分比較

(100g中 殻を除く：ヨード卵1個 約55g)

	ヨード卵	普通卵
水分(%)	75.3	74.7
たん白質(%)	12.7	12.3
脂質(%)	10.7	11.2
灰分(%)	0.8	0.9
糖質(%)	0.5	0.9
エネルギー(kcal)	157	162
カルシウム(mg)	48.9	55
リン(mg)	169	200
鉄(mg)	1.83	1.8
ナトリウム(mg)	150	130
レチノール(mg)	0.24	0.19
ビタミンA効力(IU)	800	640
ビタミンB ₁ (mg)	0.06	0.08
ビタミンB ₂ (mg)	0.42	0.48
ナイアシン(mg)	0.06	0.1
ビタミンE(mg)	7.7	1.1
ヨード(μg)	1300	検出せず

健康情報

キノコに親しむ

七宮 清

キノコの親しみ方にはいろいろあります。これまでの人間は、食用・毒・薬用・調味料・観賞用キノコとして関わりをもつて来ました。ときには、キノコ中毒などいたましい出来事もあったことでしょう。しかし人間はキノコを通していろいろなことを学びました。

アメリカのある学者は、世界にはキノコ好きとキノコ嫌いの民族がいるといっています。

キノコ好きの民族はキノコをよく食べます。当然、キノコ中毒も多くなります。日本人はキノコ好きの民族と言われているわりにはキノコの事をあまり知りません。寒い地方の人は比較的多くのキノコを食べますが、暖かい地方の人はごく限られたキノコしか食べません。寒い地方では、キノコは貴重な冬の保存食だからです。そして今でも昔から言い伝えられている迷信を信じている人が多く、同じ毒キノコによる中毒が繰り返されています。

「えが縦に裂けるキノコは食べら

れる」「毒キノコは華やかな色をしている」「ナスと煮れば中毒しない」「虫が食べているキノコは食べられる」「塩漬けにすればどんなキノコでも食べられる」などはいずれも間違った迷信です。今すぐ忘れてください。

手軽にキノコの食毒を見分ける方法があればよいのですが、今のところありません。なぜなら毒成分は科学的にみても多種多様であり、キノコの形から見ても毒キノコに共通の特徴がないからです。このように毒キノコを見分ける

判別法はなく、個々の毒キノコを一つひとつ覚えるしかありません。

キノコに親しむ手っ取り早い方法は、何と言っても「キノコ狩り」です。最近、自然食ブームや飽食の時代の反動か、山野

に生えるキノコや山菜を採取して食べる人たちが多くなりました。生活にゆとりができ、子供のころ食べたキノコや山菜の味を懐かしむ人達が増えたからです。

「キノコ狩り」のシーズンともなると、家族そろって山野へ出かけます。そんなおり、林の中や朽ちた木

に生えているキノコに出会います。子供のころの記憶をたよりに不用意に手を出し、家に持ち帰って食べ、中毒することもしばしばあります。「キノコ狩り」では少なくとも次のような事に注意しましょう。

【こんなキノコにご用心】

① えの根元に袋状のつぼがあるキノコ
ドクツルタケ、シロタマゴテングタケ



採取したキノコの説明
(富士山2～3合目にて)

② かさの表面に白いイボのような鱗片があり、えの根元には袋状のつぼがあるキノコ

ベニテングタケ、テングタケ

③ ブナの枯れ木に生え、短いえの肉に黒いシミのあるキノコ

ツキヨタケ

④ 形はホンシメジに似ているが、

ひだが時間が経つと白色から肉色に変わるキノコ
クサウラベニタケ、イッポンシメジ

⑤ 切り株に群がって生える硫黄色～レモン色をした小型のキノコ
ニガクリタケ

⑥ かさの表面は茶色、ひだは白いが茶色のシミができるキノコ
カキシメジ、マツシメジ

⑦ かさもひだも黄褐色、えは細く落ちやすいつぼのあるキノコ
コレラタケ

【キノコ中毒を防ぐには】

○ 「キノコ狩り」には、よく知っている人と出かけましょう。

○ 日頃から、キノコの展示会、研究会、採集会などに参加して、確かな目を養っておきましょう。

○ 採集したキノコを無理に図鑑に当てはめることはやめましょう。

○ えの根元につぼのあるキノコには特に注意しましょう。

【もしキノコ中毒にかかったら】

中毒したと思ったら、まず応急処置として指先をのどに奥深くさしこみ、食べたキノコを吐き出す事です。

楽しい「キノコ狩り」を通して、自然や森林の仕組みを学ぼうではありませんか。
(こだま会 会員)

年金情報

社会保障としての年金

最低保障年金制度の確立を

公的年金制度改悪は86年の大「改正」以来、本年の3月まで4度に及んだ。70年後半に政府や財界が目指した高齢化社会にふさわしい年金制度がほぼ出来上がったと言えよう。

年金の65歳支給の道が確定し、賃金スライドの凍結で事実上年金受給者の年金の引上げの道は閉ざされた。

政府・厚生省はあと厚生、共済年金の統合、女性の年金権、基礎年金の国庫負担率の引き上げが課題だとい

う。しかし、そう考えるのは甘いのではないか。今年の『厚生白書』では「活力ある高齢者」を全面にだ

し「弱い高齢者」から「強い高齢者」に変化してきているのが「新しい高齢者像」だという。高齢者の定義も

時代と共に変化し、高齢者は70歳からではないかともいう。狙いは「70歳までは年金がいらぬ、または少なくてもよい世代」ということだ。

この方向でさらに大きな「年金改悪」が準備されているとみていいだろう。

86年以來の「改正」で年金制度の問題点は何一つ解決していない。社会保障としての機能は後退し、老後

の所得保障の役割「生活できる年金」でなくなった。矛盾は深まり、制度は複雑化し、国民にますます解りにくい年金制度になってしまった。

80年代から、「年金改善」の運動は度重なる改悪反対闘争に終始し、追いまくられてきたのが実情である。

いまこそ「年金制度はどうあるべきなのか」という原則に立ち戻った運動が必要なのではないか。

年金制度の問題点は何なのか。一つは多くの無年金者が存在し、かつ無年金者の予備軍を抱えていること

である。二つめは年金受給者の大多数が生活保護基準以下の低額の年金、国民年金の老齢基礎年金の平均受給

額は月4万5千円前後、生活できない年金であること。年金受給者間でも格差が大きいことである。

全労連、年金者組合が今年度の運動方針で「社会保障闘争の柱」として掲げている「だれもが60歳から月

額8万円を、全額国と大企業の負担による最低保障年金制度の確立」と

いう要求こそ、今後、無年金をなく

し、低額の年金を底揚げし、社会保障としての年金制度をつくる道であろう。

年金制度のもう一

つの問題は財源である。だが負担するの

か。国(税)、企業、さらに制度加入者の

保険料であることは論も待たない。基礎

年金の負担率2分の1に引き上げる問題

は当面、国会でも焦点になろう。そこで

浮上してきたのが福祉目的税としての消

費税率の引き上げである。消費税は逆進性、つまり低所得層

に負担が重く、また、企業の負担がなくなる

ことでも問題である。社会保障として年金制度は所得の再

分配であり、基礎年金の財源は国の負担で解決すべきことは論も待たない。(山口順久)

「談話室」にご参加を

みんなでお茶を飲みながら、定年後のライフスタイル、地域での活動、趣味やボランティア、健康のこと、年金や相続遺言、介護保険など、ざっくばらんに語り合ってみませんか。

肩のこらない「こだま会の談話室」を次のとおり開きます。ぜひおいで下さい。

とき 10月26日(木) 13時から17時まで

ところ 労働プラザ(もと勤労会館)第4会議室

☎045-633-5413

交通 JR石川町駅下車 徒歩3分

会費 お茶代程度

当日、参加自由ですが、できれば事務局まで事前に出席希望を連絡して頂けると幸いです。事務局は、毎週火曜日の10時から16時30分まで、県職労(☎045-212-3179)です。

なお、相模原方面での開催も計画しておりますので、お楽しみに!!

高齢者運動

全国自治体退職者連絡会

総会に参加して

この総会は八月一七日、自治労連定期大会に併せて開催されました。

この一年間に三単会の加入があり岩手・北九州の八五名の出席で執行部の予想(六〇名)を上回り会議室の椅子が不足する嬉しい事態でした。

最初に自治労連中央執行委員・今井さん(社会保障担当)による「介護保険と社会保障」の題で講演がありました。四月から実施された介護保険の問題点、一〇月からは六五才以上の高齢者からも徴収がはじまる保険料、公共事業費五〇兆円社会保障費二〇兆円の逆立ち予算なのに、さらなる社会保障費の支出削減を目指した「社会福祉基礎構造改革」を路線に沿った国民いじめ政策について判りやすく話されました。

議事は執行部提案の方針を満場一致で採択しました。その骨子は全国退職者会との交流・親睦、要求実現のため現職労組・年金者組合・社会保障推進協議会などとの連携したとりくみ、個人でも「連絡会」への参加ができるので全国の仲間呼び掛ける組織拡大、などとなっています。

老後も安穩としていられない厳しい情勢であることをあらためて認識させられました。

まずは横浜で一〇月に開催される全国高齢者大会の成功をめざさなければと思いました。

(秋中一允)



勢ぞろいした新役員

福祉を受けることに
何はばかることが...

今野 宏

「高齢者社会」をいいかえれば「長寿社会」ではないか。年寄り若者のお荷物だなんてとんでもない。世の中に貢献している高齢者はいくらでもいる。後継ぎ難の日本の農林漁業は高齢者によって守られている。

町の商店や工場でも働いている。落語など芸能人の世界では「枯れた芸」が最高だし、お弟子もたくさん育てている。文化・芸術・学問の分野で尊敬的になる人は、だいたい高齢者だ。高速道路の料金所、ビルの守衛・清掃・雑役、工事現場の交通整理など、賃金の安い高齢者が多い。そればかりか、子供の自宅購入資金や、孫の学費を援助したり、高齢者が若い世代の頼りにされている例は身のまわりにはいくらでもある。

高齢者は戦争の惨禍を生き抜き、疲弊した日本の産業・経済を復興し、「高度に発達した資本主義国」と呼ばれるようにしてきた。社会の福祉を受けることに何をばかることがあるのか。まして日本国憲法の下で。

(元横浜国立大学教授
輝け高齢期 No.16より)

事務所移転のお知らせ

10月から県職労本部の移転にともなう、こだま会も移転しました。次のとおり住所変更となります。県自治会館の近くです。

〒231-0023 横浜市中区山下町57-1

神奈川県職員労働組合内

県職労退職者こだま会

なお、電話番号は変わりません。

●おわびと訂正●

49号7頁の「こだま俳壇」で校正ミスをしてしまいました。おわびして訂正します。下段4句目を次のように直して下さい。

咲き垂れて心なごみし藤の花

編集—後記

一年で最も過ごしやすい時期です。猛暑に疲れた体をいやし、文芸や運動など大いに楽しみましょう。49号は好評をいただいたようので、本当に嬉しく思いました。(木村)

編集・発行
県職労退職者こだま会
発行人 鈴木志げ子
発行日 2000.10.1

No.50

〒231-0023
横浜市中区山下町57-1
TEL 045-212-3179(直通)
045-201-1111(内線7953)